

17世紀オランダ美術とアジア



ヤン・ファン・デル・ヘイデン《珍品収集室》1712年 フタペスト 国立西洋美術館

17世紀オランダ美術といえば、誰もレムブラントやフェルメールを連想しますが、同時にオランダという名前から蘭学とか日蘭貿易といった言葉を想起する人も少なくないのではないのでしょうか。オランダが江戸時代に日本と交易をおこなった唯一の西欧国であり、日本の近代化に多大な貢献をした国であったことは広く知られています。しかし、日蘭関係という文脈でオランダが語られるのは、もっぱら18世紀後半以降のことです。レムブラントやフェルメールが活動したオランダ絵画の黄金時代は17世紀ですから、無意識のうちに「美術におけるオランダ」と「日蘭関係におけるオランダ」とはふたつの別の世界のことであったと考えられてきたようです。

けれども、レムブラントがそのコレクションに「日本の冑^{かぶと}」や「インドのカップ」を所蔵し、その多数の版画に和紙を用いたこと、また、フェルメールが中国磁器を描き、あるいは、多くのオランダ絵画に「ヤボンス・ロック（日本風上着）」と呼ばれた衣装を羽織る人物が描かれたことを知るならば、17世紀オランダ美術とアジアとが文化的に深く結びれていたことを改めて認識せざるえないでしょう。オランダは「日蘭関係におけるオランダ」だけではなく、「美術におけるオランダ」にはアジアが深く関わっていたのです。

このシンポジウムは日本の17世紀オランダ美術の研究者たちを中心に、東西交流を研究テーマとするオランダ、中国、日本の研究者を加え、さまざまな視点から17世紀オランダ美術とアジアとの関係を探ろうとするものです。オランダ美術に関心を持つ方をはじめ、西欧に輸出された磁器や漆器の歴史、また、日蘭貿易に関心をもたれる方でも多くの方々の参加をお待ちいたします。

*このシンポジウムは特別の参加資格を必要としません。参加ご希望の方は当日直接講堂（地下2階）においでください。

主催：国立西洋美術館
協力：ポーラ美術振興財団 西洋美術振興財団

2017年1月21日(土) 10:00-18:00 ※同時通訳付き
Saturday 21 January 2017, 10:00 - 18:00
Presentations will be in Japanese and in English with simultaneous interpretation.

国立西洋美術館講堂（地下2階）
Auditorium, The National Museum of Western Art, Tokyo (B2 floor)

聴講無料
会場へは開演の30分前からご入場いただけます（自由席）。
Free of charge, The Auditorium will open at 9:30 p.m.



学術シンポジウム 17世紀オランダ美術と<アジア>

Symposium
Dutch Seventeenth-Century Art and "Asia"
The National Museum of Western Art, Tokyo January 21, 2017

会場

国立西洋美術館 講堂 (地下2階)

司会

熊澤 弘 (武蔵野音楽大学)

中田 明日佳 (国立西洋美術館)

Timetable

1	10:00~10:30	幸福 輝 (国立西洋美術館) 「アジアを収集する、アジアを表象する」 Akira KOFUKU, The National Museum of Western Art, Tokyo Collecting Asia, Representing Asia
2	10:30~11:00	櫻庭 美咲 (国立歴史民俗博物館) 「オラニエ=ナッサウ家の磁器収集と陳列の諸相」 Miki SAKURABA, The National Museum of Japanese History Considerations on the Orange-Nassau Family's Collection of Porcelain and its Display
3	11:00~11:30	青野 純子 (九州大学) 「贅沢か虚無か—18世紀初頭の室内画における磁器の表象」 Junko AONO, Kyusyu University Luxury or Vanity – Depicting Porcelain in Early Eighteenth-Century Dutch Interiors
	11:30~12:00	質 疑 Discussions
	12:00~13:00	昼 食 Lunch <small>※ 講堂内で昼食をとることはできません。 また、レストランを除き、館内で食事をとるスペースはありません。</small>
4	13:00~13:30	日高 薫 (国立歴史民俗博物館) 「記憶と幻想—17世紀の日本製輸出漆器にみる風景表現」 Kaoru HIDAKA, The National Museum of Japanese History Memories and Fantasy in Japanese Export Lacquer of the Seventeenth-Century
5	13:30~14:00	施 静 菲 [シー・チンフェイ] (国立台湾大学) 「世界的文脈における17世紀と18世紀デルフト多彩陶器」 Chingfei SHIH, National Taiwan University Delft Polychrome Wares of Seventeenth and Eighteenth-Centuries in a Global Context
6	14:00~14:30	アンナ・グラスカンプ (香港浸会大学/ハイデルベルク大学) 「反響の枠組み—”インド”の貝殻表面とオランダの収集 1550–1650」 Anna GRASSKAMP, Hong Kong Baptist University/Cluster of Excellence Asia and Europe in a Global Context at Heidelberg University The Frames of Reflection: 'Indian' Shell Surfaces and Dutch Collecting, 1550-1650
	14:30~15:00	質 疑 Discussions
	15:00~15:30	休 憩 Coffee Break
7	15:30~16:00	深谷 訓子 (京都市立芸術大学) 「書画同源? オランダと漢字の出会い」 Michiko FUKAYA, Kyoto City University of Arts The Sister Arts of Painting and Calligraphy? Early Knowledge of Chinese Characters (<i>Kanji/Hanzi</i>) in the Netherlands
8	16:00~16:30	ティス・ウエストステイン (ユトレヒト大学) 「フェルメールが描いた磁器」 Thijs Weststeijn, Utrecht University Vermeer's Painted Porcelain
9	16:30~17:00	尾崎 彰宏 (東北大学) 「西洋と東洋の出会い—美的イメージとしての東洋」 Akihiro OZAKI, Tohoku University Encounters between Europe and Asia – The East as Aesthetic Image
	17:00~17:30	質 疑 Discussions
	17:30~18:00	全体質疑 Conclusions